



## Topic 市長と語ろう！タウンミーティング ～ 高校生・移住者らと語る北秋田市について～

市のまちづくりや行政課題などについて市民と語り合う「市長と語ろう！タウンミーティング」が、11月28日（土）に市民ふれあいプラザで開かれ、ファシリテーター（司会）に迎えた武田昌大氏のもとで、北秋田市在住の高校生らがグループトークやディスカッションを通して市長と意見を交わしました。

「市長と語ろう！タウンミーティング」の高校生とのグループトークは、2018年から行っており、今回で3回目となります。

高校生とのトークディスカッションでは、武田氏が高校生時代を振り返りながら、高校生に質問をすると、全員からたくさんの意見が出されました。

主なものを紹介すると、次のような意見がありました。

- 挨拶が良くて気持ちがいいまち
- 水がきれい空気もきれいなところをPRするというのは
- 第1次産業がしっかりしていて、食べ物おいしい

●人口減少が課題

●移動が問題、病院とか買い物とかが大変

●ツールドフランスを七日市で！

●商店街のシャッターを何とかしたい

高校生の意見を聞いた市長からは、「普段から市としても何とか解決していきたいと感じていることを言ってもらった。移住者も増え、お話を聞くと、地域のお店が少ないなどの足りないところもあるものの、地域の人たちが助けてくれるので、そんなに不便を感じていないということをよく聞く。市の未来に向けて皆さんにも一緒に考えていただいて、市ではそれを支援していきたい。高校生の皆さんがひとつひとつ問題点について深く考えていて、すばらしい」など感想を述べていました。

また、2つ目のテーマとして、移住者・地域おこし協力隊に聞いてみたいことの中で、地域おこし協力隊の斎藤美奈子隊員からは、「一度は秋田や日本から出てほしい。都会のお

店やデパートが自分の人生を充実させるために本当に必要なものかを知ることができるし、秋田のすばらしさに気づくと思う」などの意見も出されました。

高校生からは、地域おこし協力隊の活動について質問があり、斎藤隊員からは「SNSなどを通じて、北秋田市の魅力を伝えている、地域の人とのつながりをつくることを第一にしている」など答えていました。

【参加してくれた高校生等】（敬称略）  
秋田北鷹高校：今野彩海、齊藤遼河、佐藤壘、藤島優輝

大館鳳鳴高校：中田裕生、村上優花菜

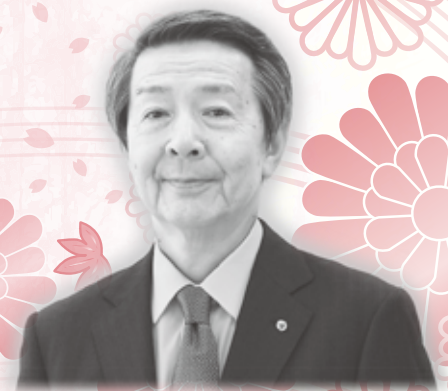
能代高校：簾内佑希菜、高橋京

移住者：張了了

地域おこし協力隊：斎藤美奈子  
コーディネーター：武田昌大（略歴：北秋田市鷹巣出身、大学卒業後、東京のゲーム会社に就職し、2010年、秋田のお米をネット販売するサービス「トラ男」をスタート）

※北秋田市HPで報告書（全文）を掲載しています

# 謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の生命や健康はもとより社会経済に甚大な影響を及ぼし、当たり前の日常がいかに幸せなことを気づかせてくれた一年となりました。全国を対象に発令された緊急事態宣言により、不要不急の外出が自粛され、地域の祭典や、伝統行事等が軒並み中止や延期となり、物足りなさや寂しさを感じている人も少なからずいらっしゃったと思います。

北秋田市では、コロナ禍で影響を受けた市民の皆様への暮らしを支えるため、感染防止対策の徹底と併せ、緊急経済対策を適時に打ち出してまいりました。2度のスーパープレミアム付応援チケット事業では、ご利用する側と地元商店側の双方から喜んでいただいておりますし、観光文化施設無料招待事業では、多くの皆様に身近な観光資源の価値を再認識していただく機会となり、事業終了後もリピーターとして訪れるお客様が増えています。

長引くコロナ禍は、リモートワークによる働き方の見直しや、都市部から地方への移住、二拠点居住に対する関心の高まりなど、経済・社会の様々な場面で人々の意識や価値観、行動の変化をもたらした側面もあります。

このような時機を逃すことなく、地域の様々な力や知恵、そして資源を結集し、北秋田市に人が集ま

る動きを創り出したいと考えております。重点項目の移住定住対策につきましては、首都圏の子育て世帯をメインターゲットに、充実した教育や子育て環境、豊かな自然、安全・安心な生活環境や手厚い支援制度といった「北秋田の魅力」について、多様なメディアを活用してプロモーションを展開してまいります。

観光振興につきましては、昨年末の日沿道「蟹沢ICから大館能代空港IC」間開通による高速交通網のアクセス向上を追い風としまして、世界文化遺産の登録を目前に控えた伊勢堂岱遺跡を大々的にPRするとともに、北東北の中心地という地理的優位性を生かし、点在する観光資源を有機的に結び付け、インバウンド観光のリスタートに向けた準備を進めてまいります。

第2次北秋田市総合計画の折り返しとなる本年は、「新しい生活様式」の確立と地域経済の再始動という難しい舵取りを求められますが、市民の皆様と共に心を一つにして、希望に満ちた明るい未来を目指し鋭意邁進してまいりますので、市政への一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、一刻も早い新型コロナウイルスの終息を願うとともに、市民の皆様にとりまして幸多い1年となりますよう心からご祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

令和三年 元旦

北秋田市長 津谷永光